

令和4年度事業報告書

令和4年度の事業運営については、恵和会の目的及び目的遂行のために実施すべき事業を着実に実施すること、事業遂行に当たっては公平性、透明性に留意すること、各種事業の公募等に適切に対応すること等により、熊本大学をはじめ御利用の皆様のご要望に適切に応えていくこととした。

この基本方針のもとに実施した令和4年度の事業概要等は、次のとおりである。

1. 事業の内容

コロナ禍のため、1年間だけ事業継続されていた東病棟売店については、新たな公募事業により令和5年4月1日～令和10年3月31日の5年間の事業実施が認められた。

また、アメニティ施設については、令和4年5月31日、優先交渉権者に選定された。

現在、コロナ感染者数は減少傾向にあるものの、依然として入院患者見舞制限・建物入室制限等が続いており、病棟売店の売上は前年度比0.23%減となったが、セブン-イレブンやタリーズ等を中心に収益が回復しつつあり、必需品供給事業収益全体では前年度比2.04%増と増加傾向にあるが、コロナ禍前の令和元年度比では22.48%減である。

一方、保険薬局事業については、令和4年度の薬価改定により、TTR型アミロイドーシス治療薬「ビンダゲル」が用法容量再算定の適用となり、△75%の大幅なマイナス改定が行われた影響等により、前年度比処方せん枚数は0.12%の微増だが、収益は13.43%減、コロナ禍前の令和元年度比の収益では12.17%減となった。

これにより事業収益全体としては前年度比10.96%減、コロナ禍前の令和元年度比14.19%減と、依然として厳しい状況が続いている。

(1) 助成・寄附関係(4,252万円)

① 患者の慰安に対する助成(164万円)

従来から実施している敬老の日のプレゼント、ハロウィンプレゼント、イルミネーション、クリスマスプレゼント、中央診療棟1階及び東病棟1階薬剤部前に設置の熱帯魚水槽のメンテナンス等については、その充実を図り実施した。

* コロナ禍に伴い中止した夏祭りの代替策として令和3年度から実施したバルーンアートのプレゼントについては令和4年度も実施し、好評を得た。

② 学生の学事研修に対する助成(300万円)

学生の臨床実習に備えるB型肝炎ワクチン接種・4種抗体検査及びインフルエンザ予防接種の経費の助成を従来どおり実施した。

③ 職員の学事研修及び医学研究に関する寄附(3,433万円)

医学研究については、国際シンポジウム(140万円)、基礎研究医養成(柴三郎プログラム)経費(150万円)、医学振興等経費(3,143万円)の寄附を行った。

④ 医学振興を目的とする公益法人への寄附(50万円)

公益財団法人肥後医育振興会の公益目的事業への寄附(50万円)も従来どおり実施した。

⑤ こばと保育園等への寄附(305万円)

従来から実施している「こばと保育園」と「院内保育所」への七夕セット及びクリスマスプレゼント(4万円)、看護職採用学校訪問贈答品(6万円)、大学病院における環境整備への助成(150万円)、医学部講義室への液晶プロジェクター一式(109万円)、熊本医学会への寄附(10万円)、その他熊本大学病院への私設郵便差出箱取集料、管理運営等への寄附(26万円)を実施した。

(2)その他の事業関係

① 入院療養に必要な寝具等の貸出し等

入院患者さんに付添の方へ貸し出す寝具・簡易ベッド、入院患者さんの入院生活の利便に資するため病棟へ設置している洗濯機・乾燥機については、更新等により正常な稼働に努めるとともに、清潔に保つよう心がけた。

② 患者、教職員、学生等のための必需品の供給

ア 接遇研修によるマナーの向上

コロナ禍により集合研修が禁止されているため、新たに『「サービス・接遇」の手引き』を作成し、全職員へ配布し、「サービス」や「接遇」に関するスキル及び意識向上に努めた。

イ 感謝セール

東病棟売店については、開店12周年記念、売店の日、夏期・年末・年度末の売出し及びひな祭り・こどもの日・母の日・父の日の各セールにおける割引販売を実施した。

なお、ベーカリーカフェ「サンテ」については、コロナ禍での、3密を防ぐため、サンテの日(毎月第2・第4木曜日)、パンの日(毎月第3金曜日)及びサンテ開店記念セールは休止し、毎日パン100円以上お買い上げのお客様にソフトドリンク・スープ・コーヒー各170円を100円に割引くセールのみを実施した。

ウ 移動販売

東病棟売店は、令和元年6月から、11時45分～12時30分の間事務所前で、地産地消の地元手作り弁当の提供、出来たて焼きそば・焼き飯の提供を開始し、好評により継続していく。

ベーカリー・カフェ「サンテ」は、令和2年8月から、11時45分～12時45分の間恵和会事務所前で、火曜と金曜日には、11時～11時40分の間本荘中地区での販売を開始し、多種類のパンの提供が好評で、今後も継続していく。

③ 保険薬局の更なるサービス向上等

アメニティ棟への移転を踏まえ、待ち時間の短縮及び調剤過誤の低減を図るため、調剤設備・機器の選定や、処方箋応需フローの見直しに取り組むとともに、「学生実習受入」や「地域連携薬局」に向けた検討を始めた。

2. 熊本大学病院等との懇談会

恵和会の適時適切な運営に反映するため、熊本大学病院との懇談会を年2回、生命科学系事務部と懇談会を1回実施しているが、コロナ禍にあり面談での懇談会が出来ないため、6月に書面による意見交換会として実施した。

3. 広報

恵和会が熊本大学に行っている助成金や患者の慰安活動等については、病院長始め関係の皆様から各種会議での説明、熊大病院ニュース、熊本大学病院ホームページでの紹介などを通じて広く教職員の皆さんに周知をいただいた。

4. 関連規則の整備

労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」が、中小企業のカテゴリに入る恵和会においても令和4年4月1日から義務化されることに伴い、ハラスメント関連規則の制定、付随する就業規則等の改正が急務となり、社会保険労務士と打合せを重ね対応することができた。

また、定年・再雇用に対応するための給与規則等の関連規則の整備も並行して実施した。

※ 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。